

メトホルミン塩酸塩錠250mg「SN」を 服用される方へ

このお薬には血糖を下げる作用があります。服用を始めてしばらくの間は**消化器症状**（嘔吐、下痢、便秘等）がよくみられます。また、まれに**乳酸アシドーシス**や**低血糖症**を起こすことがあります。以下の点にご注意ください。

① このお薬の飲み方について

- 食後に服用してください。
- 飲み忘れたときは、次の服用の時間に1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。
- 食事を摂れなかったときの服用をどうするかは、主治医にご相談ください。

② 乳酸アシドーシスについて

（1）乳酸アシドーシスとは

血中の乳酸が異常に増えて血液が酸性になった状態です。まれな副作用（約3人/10万人・年）ですが、治療が必要な状態です。

吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、筋肉痛、呼吸が苦しいなどの症状がひどいとき、あるいは続くときはこのお薬の服用をいったんやめ、すぐに主治医にご連絡ください。

（2）乳酸アシドーシスの予防には

- 腎臓や肝臓、心臓、肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことがある人は主治医に申し出てください。
- お酒を飲み過ぎないようにしてください。
- ヨード造影剤を使う検査や治療を受けるとき、また手術を受けるときは事前に主治医に申し出てください。
- 他の医師から何か薬を処方してもらうときは、このお薬を服用していることを申し出てください。
- 下痢、嘔吐等の胃腸障害のあるとき、脱水状態のときは、このお薬を飲まないでください。
- 脱水を予防するため、適度に水分をとるよう心がけてください。

③ 低血糖症について

(1) 低血糖症とは

(この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください)

血液中の糖分が少なくなり過ぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。はなはだしい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。低血糖症は危険な状態ですから、このようなことが起こらないように注意し、もし起こったら、軽いうちに治してしまわなければなりません。

(2) 低血糖症が起こったら

- 低血糖症になっても軽いうちは糖分を摂ると治ります。
日頃から砂糖などを持ち歩き、すぐその場でとることが必要です。
がまんしてはいけません。ただし、アカルボース、ボグリボース、ミグリトールを併用している場合には砂糖は不適切です。必ずブドウ糖を摂ってください。
- 十分注意していても、ときには意識を失うような強い低血糖症が起こらないとも限りませんから、**自分は現在糖尿病で薬を飲んでいることを書いたカードを身につけておき、すぐに治療してもらえるようにしておくことが安全です。**
- 低血糖症を起こした場合は、必ず早めに主治医に報告してください。

(3) 低血糖症の予防には

- 薬の量や飲み方は、主治医の指導を正しく守ってください。
勝手に量や飲み方をかえるような自己流のやり方は危険です。
- 食事をみだりに減じたり、抜いたりしないよう**食事療法はきちんと守ることが大切です。**お酒の飲み過ぎ、激しい運動、下痢等は低血糖症を起こしやすいので注意してください。
食事が摂れないときは、主治医に連絡してその指示を受けてください。
- 薬の中には、いっしょに飲むと低血糖症を起こすものがあります。**何か別の薬を飲むときには、主治医に相談してください。**他の医師に何か薬を処方してもらうときには、すでにこのお薬を飲んでいることを申し出てください。
- 局所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事しているときに低血糖症を起こすと事故につながります。特に注意してください。